

出向く宮農レポート

瀬戸地域 生産者と二人三脚で安定出荷！編



瀬戸地域担当
水野 大輔

瀬戸グリーンセンター「とれたてれすとらん」やイトーヨーカ堂への出荷依頼と瀬戸の特産品化を目指しているサボイキャベツの栽培依頼のため、鈴木明美さんと藤井初子さんの圃場へ出向きました。

鈴木明美さんの圃場



EM菌(有用微生物)を利用し、栽培期間中は化学肥料や農薬を使わずに栽培しています。米ぬかを発酵させ堆肥として使用したり、害虫や小動物の被害を抑えるニーム^(※)の粉末を散布したりと自然由来の環境にやさしい栽培を行っています。

※インド原産の常緑樹で、害虫や小動物に対し忌避効果があると言われています。

キャベツの定植について相談を受けました。

日照不足でプラグ苗が徒長気味だったため、根をしっかりと活着させるため双葉あたりで深植えするよう提案しました。



サボイキャベツの栽培を依頼しました。

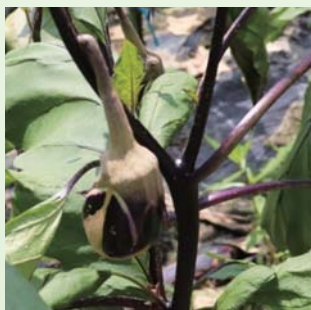
定植は8月上旬、収穫は12月下旬です。アオムシの発生などでどうしても農薬を使用した方がよい場合は、微生物殺虫剤であるゼンターリ顆粒水和剤の使用を提案しました。



イトーヨーカ堂へキュウリの出荷を依頼しました。

鈴木さんはキュウリを長期間出荷するため数回に分け、種まきを行っています。写真は7月中旬に種まきしたもの。8月にも種まきをし、9月下旬まで収穫を行います。

藤井初子さんの圃場



稲作中心に様々な農産物を育てており、ナスを500本栽培しています。「とれたてれすとらん」へナスの出荷を依頼しました。

ナスのヘタが白くなっているものがあり、チャノホコリダニの被害果がありました。ひどくなると皮まで白くなり、出荷できなくなってしまうのでコテツフロアブルなどの散布を提案しました。

ナスの病害虫 チャノホコリダニの防除

コテツフロアブル2000倍
収穫前日まで4回

コロマイト乳剤1500倍
収穫前日まで2回

藤井さんにもサボイキャベツの栽培依頼をし、承諾いただきました！今後、定植時期や栽培方法等を提案していきます。



職員の一言

サボイキャベツが瀬戸の特産品となるよう、今年も継続的に圃場に出向きます。ご相談等あれば、お気軽にお声がけください！